

<目次>

1. はじめに
2. イベント開催に当たっての基本的な考え方について
3. 開催時の感染防止策について
  - (1)参加募集時の対応
  - (2)受付時の留意事項
  - (3)開催中、参加者が行うべきこととその管理
  - (4)開催中、開催者が行うべきこと
  - (5)準備すべき物品
  - (6)その他の留意事項

<本文>

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、感染防止のための取組を進めることが求められています。本ガイドラインは、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を受けてNPO 日本ジャグリング協会より作成された「ジャパンジャグリングフェスティバルにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第1版(NPO 日本ジャグリング協会 2020年8月30日作成)」に準拠し、宮城会場にてジャグリングイベントを開催するに当たっての基準や、感染拡大予防のための留意点についてまとめたものです。

なお、新型コロナウイルス感染症への感染を防止するための方策については、必ずしも十分な科学的な知見が集積されている訳ではありません。このため、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しており、今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることに御留意をお願いします。また、参考とする「ジャパンジャグリングフェスティバルにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第1版(NPO 日本ジャグリング協会 2020年8月30日作成)」の内容が変更された場合にも、逐次見直す場合があり得ることに御留意をお願いします。

また、開催者は事前に通読することが望ましいですが、準備中、開催中に該当項目を参照できるよう、時系列に沿った項目を設けました。そのため、各項目には重複があります。

2. イベント開催に当たっての基本的な考え方について

イベントの開催の可否については、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言等に基づき、以下のように対応します。

- (1) 宮城県が特定警戒都道府県に指定された場合
  - ・ 中止又は延期します。
- (2) 宮城県が特定警戒都道府県以外の特定都道府県に指定された場合
  - ・ 全国的大規模かつ大規模なイベントの開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期します。
  - ・ 比較的少人数が参加するイベントについては、宮城県における、イベントの開催に係る方針に従い、

実施の可否等について慎重に検討します。

- ・ 感染防止が困難であると考えられた場合には中止又は延期します。
- ・ 開催を決めてからも、感染拡大の兆候やスポーツイベントにおけるクラスターの発生があった場合、宮城県知事の協力の要請等に基づき、無観客化、中止、延期等の適切な対応を行います。

(3) 宮城県が緊急事態措置の対象とならない場合

- ・ 宮城県における、イベントの開催に係る方針に従い、実施の可否等について検討します。
- ・ 感染防止が困難であると考えられた場合には中止又は延期します。
- ・ 開催を決めてからも、感染拡大の兆候やスポーツイベントにおけるクラスターの発生があった場合、宮城県知事の協力の要請等に基づき、無観客化、中止、延期等の適切な対応を行います。

開催する場合、政府、各都道府県知事の方針、利用施設の要請、「ジャパンジャグリングフェスティバルにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第1版(NPO 日本ジャグリング協会 2020年8月30日作成)」を参照します。方針に沿って他都道府県からの参加を見合わせていただく可能性があります。

宮城県・仙台市の感染対策が記載されたホームページ(以下 HP)と問い合わせ先を以下に示します。

・ HP

新型コロナウイルス感染症対策サイト(宮城県)

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/>

新型コロナウイルス感染症特設ページ(仙台市)

<https://www.city.sendai.jp/kikikanri/kinkyu/corona2020/index.html>

・ 問い合わせ先

仙台市危機管理室危機管理課：022-214-8519

### 3. 開催時の感染防止策について

開催者は以下の内容を踏まえつつ、宮城会場の特性を勘案して対策を行います。

(1) 参加募集時の対応

参加募集に際し、参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めます。これを遵守できない参加者には、入場の拒否や途中退場などを求める場合があります。また、自主的に参加を見合わせた場合、参加費の返金に応じるなど、参加を控えやすい環境の整備を行います。以下に参加者に求める措置を示します。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
  - ア 体調がよくない場合
  - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること(基本的にマスクを着用すること)。また、各自のごみを持ち帰る袋等を持参すること。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者、開催者スタッフ等との距離(できるだけ 2m を目安に、最低 1m)を確保すること。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。)
- ⑤ イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 汗をぬぐうための清潔なティッシュ、タオルなどを持参すること。
- ⑦ 感染防止のために開催者が決めたその他の措置を遵守し、開催者の指示に従うこと。

- ⑧ イベント終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、開催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑨ イベント参加前も節度ある行動を心掛けること。

感染してから自覚症状が出るまでの期間にも他者へ感染させる場合があり、イベント参加前 2 週間は節度ある行動をすることが求められます。新型コロナウイルス接触確認アプリ(以下、COCOA)の使用も推奨します。

## (2) 受付時の留意事項

当日の受付時に参加者が密になることを防ぎ、安全にイベントを開催するため、以下の項目を実施します。

- ① 受付窓口には、手指用アルコール消毒剤を設置します。
- ② 体調不良のある者には参加しないよう再確認し、保存可能な形 (google form 形式) での情報の提出をお願いします。  
参加者募集時に体調不良者には参加を控えるよう求めています。イベント開催前 (9 月 16 日前頃) と当日の計 2 回改めて確認を行います。その際、参加見合わせが望ましいと判断される方には、参加を控えていただく可能性があります。
- ③ 受付時に検温を行い、発熱のある者は参加を控えさせます。  
ここで発熱とは暫定的に他の内科疾患に準じて 37.5℃以上とします。検温の結果は、3(2)②の体調に関する情報とともに保存します。開催者も、開場より前に(3)②体調申請書の提出及び③検温を行い、参加が適切でない者は参加を控えます。運営に参加できない者が多く開催が困難な場合には、中止や延期が検討されます。
- ④ 受付時には身分証による本人確認を行います。  
3(2)②で提出いただいた内容と相違がないことを確認するために、身分証明書をご提示ください。身分証明書は学生証・免許証・健康保険証・マイナンバーカードのいずれかをご用意ください。
- ⑤ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽します。
- ⑥ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行います。  
行列は密集しやすい場所です。距離を置いて並べるよう、2m 間隔に目印を設置します。目印の設置とともに、並ぶ場所の換気にも留意します。
- ⑦ 受付を行うスタッフは、マスク等防護具を着用します。
- ⑧ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにします。
- ⑨ 参加者のマスク等防護具の持参を確認します。
- ⑩ 当日の受付のほか、事前に参加者情報を収集しておくことで当日の混雑を極力避けます。

## (3) 開催中、参加者が留意すべきこと

参加者がイベント開催中に留意すべきことをまとめます。

- ① ジャグリングの内容に配慮し感染のリスクとなる技は避けること。  
一般に、ジャグリングイベントにおいて、道具、手、床面は汚染される可能性があり、接触感染対策に留意する必要があります。  
ア 道具が顔に触れないようにすること。  
道具が顔に触れる事は接触感染のリスクになると考えられます。イベント中は、イーティングや道具を咥える技など直接粘膜へ接触する技は禁止します。ストールやバランス、その他の技について、顔を使ったものは避けるようお願いいたします。また、マスクやフェイスシールドをし

たままできない技についても同様に避けるようお願いします。

イ 道具の共用をなるべくしないこと。

複数人での技や道具の共用は接触感染のリスクとなります。例えばパッシングは汚染物→手→道具→手→ジャグラーの粘膜という順の接触感染の原因になる可能性があります。パッシング中に顔を触らない、パッシング前後には手洗い又は手指消毒、道具の消毒・除菌をするなどの配慮をお願いします。道具の貸し借りはなるべく避け、貸し借りする場合にはパッシングと同様の配慮をお願いします。スティールはジャグラー同士の距離が非常に近いため、飛沫感染対策の面からもリスクが高いと想定され、特に向かい合っ行うものは禁止します。ワークショップやジャグリングゲームではこれらの技を行わないよう、講師および開催者は注意を促します。

ウ ドロップした道具を拾う際に配慮をすること。

ドロップした道具が使用者から離れていく場合、拾いに行く過程でソーシャルディスタンスが保てなくなる可能性、他の参加者にぶつかるまたは拾われる可能性があります。ドロップした道具はなるべく自分で拾うこと、ドロップした道具が飛散しないようジャグリングする際の向きや位置に注意するよう配慮をお願いします。

② マスクやフェイスシールドを装着すること。

参加中は飛沫を飛ばさないようにマスクまたはフェイスシールドの装着をお願いします。マスクの大量生産に伴い品質の悪いものが出回っていて、破損することがあります。また、マスクを忘れる、紛失する、汚損する場合は想定されます。マスクのない参加者は会場に入れなため予備まで持参するようお願いします。

ただし、マスクを着用して運動すると十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があります。また、マスクは熱中症のリスクを上げる可能性があります。そこで、平時以上に休憩を取る、水分補給を行うなど体調管理に十分に注意したうえで、ホール内ではマスクの着用を求めます。休憩時間を設けることも有効な可能性があります。なお、N95 マスクを着用して運動することは禁止します。

フェイスシールドやゴーグルについては目の粘膜からのウイルスの侵入を防ぐために有効です。新型コロナウイルスによる結膜炎や、涙からのウイルスの検出も報告されていますが、各種ガイドラインに記載が少ないため、推奨するにとどめます。

③ 手洗いを十分に行うこと。

手指衛生は感染防止に非常に有効です。入退場の際、休憩の前、その他汚染された可能性のある時には手洗いをを行うようお願いします。手は十分な時間をかけて洗い残しのないように洗う必要があります。手洗いの手順と時間について、手洗い場に掲示されているポスター等を参照し、手洗いをを行うようお願いします。

④ 参加者同士の間隔を開けること。

飛沫が飛散する距離は1～2mとされます。参加者同士は2m（最低1m）以上離れるよう指示し、必要に応じて巡回して注意喚起を行います。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除きます。）なお、会場には床に2m間隔の目印を設置します。それを参考にすることで練習場所に注意するようお願いします。

ジャグリングゲームや技の内容も密集するものはできる限り避けるようお願いします。向かい合うものはなるべく避け、同一の方向を向いて行うようお願いします。

⑤ 大声を出さないこと。

大きな声を出すことは飛沫の飛散のみならず、より感染リスクの高いエアロゾル発生リスクとな

ります。参加者は必要以上に大きな声を出さないようお願いします。

⑥ タオルを共有しないこと。

スポーツに伴い汗をかきますが、汗は一般に感染性はないものとして扱われます。ただし、汗を拭く際に目・鼻・口に触ることは感染の原因になる可能性があります。ジャグリング中の手指は汚染されることが多いので、顔の汗を拭く際にはなるべく清潔なティッシュを使うなど、直接触れないように注意してください。タオルの共有はしないでください。手洗い場などに共有のタオルがある場合には使用せず、使い捨てのペーパータオルを使用してください。

⑦ イベント外でも良識ある行動をすること。

大人数での会食はなるべく避け、飲食は各自治体などのガイドラインに沿った対策をした飲食店に限るなど配慮をお願いします。宿泊はなるべく個室にし、十分に感染対策のされた施設を利用してください。その他、人込みに行かない、イベント外でも適切にマスクを着用するなど、良識ある行動を求めます。COCOAの使用を推奨します。

⑧ 顔を触らないこと。

手指衛生を徹底しても、ジャグリング中には手指は汚染される可能性が高いです。顔(特に目、鼻、口)には直接触らないようにお願いします。清潔なタオルやティッシュ越しに触る、やむを得ず直接触る場合には手を洗った直後にするなど配慮をお願いします。

⑨ ジャグリング道具等の消毒、清掃を行うこと。

ジャグリング道具や運動靴、その他練習に使用する道具は接触感染の原因となる可能性があります。入退場の前後、道具の共用前後、その他汚染されたと思われるタイミングには道具を消毒または清掃してください。入退場の前後における消毒は、自宅等での消毒または清掃を推奨します。会場内での道具の消毒または清掃は、会場に設置する消毒・除菌スペースにて行うようお願いします。その際、2m 間隔の目印を目安に、参加者が密集しないよう注意してください。

なお、消毒薬を用いる必要は必ずしもなく、掃除用雑貨で有効なものがあります。「ジャパンジャグリングフェスティバルにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第1版(NPO 日本ジャグリング協会 2020年8月30日作成)」内の(5)②および(参考2)を参照してください。素材や技の特性によって事情が異なるので、細かな方法については指定しません。

⑩ 飲食は指定されたスペースのみで行うこと。

飲食の際は、顔と手指が直接接触する可能性があり、感染のリスクがあります。体育館内での飲食は禁止します。飲料の摂取は、体育館入り口付近の指定スペースまたは屋外でするようお願いします。また、食事は屋外の指定スペースで行うようお願いします。その際、3(3)⑦に記載した内容を留意して下さい。

⑪ ゴミの管理を適切に行うこと。

会場にて発生したゴミは原則各自で持ち帰るようお願いします。簡易のゴミ袋を用意しますので、そちらをご利用ください。会場内にゴミを放置することは禁止します。会場内のゴミ箱にゴミを捨てることも極力ないようお願いします。

(4) 開催中、開催者が行うこと

「ジャパンジャグリングフェスティバルにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第1版(NPO 日本ジャグリング協会 2020年8月30日作成)」内の3.(4)における各項目を準拠します。なお、宮城会場にて独自に取り組む項目については以下の通りとします。

① 換気を行います。

体育館の窓は常に開放し、必要に応じて扇風機を稼働し換気を行います。また、入口のドアは基本

的に開放したままにします。

② 環境の消毒を適切に行います。

会場独自に設定したチェックシートに基づき、開場前・開場中（数回）・イベント終了後に消毒作業を行います。その他、チェックシートに記載されていない場所が汚染された可能性がある場合は、その都度消毒します。

③ ゴミの管理を徹底します。

会場にて発生したゴミは原則各自で持ち帰るようお願いします。簡易のゴミ袋を用意しますので、そちらをご利用ください。会場内にゴミを放置することは禁止します。会場内のゴミ箱にゴミを捨てることも極力ないようお願いします。

④ 手洗い・手指消毒を励行し、そのための物品を用意します。

手洗いや手指消毒を行うよう体育館内で定期的にアナウンスします。

会場の各お手洗いにハンドソープとペーパータオルを設置します。お手洗い使用の際は、そちらを使用してください。ペーパータオルのゴミは、お手洗い設置のゴミ袋に捨ててください。手指用アルコール消毒剤は受付、体育館入り口、お手洗い前、道具消毒・除菌スペースの計4か所に用意します。

⑤ ソーシャルディスタンスを確保します。

受付付近には動線の目印を設置します。体育館内にはソーシャルディスタンスを保つため2m間隔で目印を設置しています。会場の壁際には、距離を開けてパイプ椅子を設置していますので、休憩・荷物置き場としてご利用ください。スーツケースなど大きい荷物は、専用に用意した別室に置くようお願いいたします。宮城会場ではソーシャルディスタンスを確保するため、参加人数を1日目20人、2日目16人に制限しています。

⑥ 飲食に関するルールを定めます。

体育館内では、飲食を禁止します。飲料の摂取は、体育館入り口付近の指定スペースまたは屋外で行うようお願いします。また、食事は屋外の指定スペースで行うようお願いします。その際、3(3)⑦に記載した内容を留意して下さい。飲食時はマスクを外してもかまいませんが、大声で話すなど飛沫感染の恐れがある行為はお控えください。

(5) 準備すべき物品

「ジャパンジャグリングフェスティバルにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第1版(NPO 日本ジャグリング協会 2020年8月30日作成)」内の3.(5)における各項目を準拠します。

(6) その他の留意事項

① イベント開催後

もし参加者の感染があった場合には、適切に対処します。参加者は、参加前に感染が疑われる方と接触していたことが判明した場合や、参加後2週間以内に体調に異変があった場合には必ず開催者に連絡をしてください。宮城会場では、感染確認等の連絡における連絡先確保のため、体調申請書・連絡先・名簿の記録を少なくとも1か月は保存します。COCOAは有効な可能性があり、参加者へ使用を推奨します。